

会社概要 (2024年9月20日現在)

社名 アルインコ株式会社
英文社名 ALINCO INCORPORATED
本店 大阪府高槻市三島江1丁目1番1号
大阪本社 大阪市中央区高麗橋4丁目4番9号
東京本社 東京都中央区日本橋2丁目3番4号
創業年月 1938年9月
資本金 63億6,159万円
従業員数 (連結) 1,418名 (単体) 774名

役員 (2024年9月20日現在)

取締役	執行役員		
代表取締役会長	井上 雄策	常務執行役員	小嶋 博隆
代表取締役社長 兼 社長執行役員	小林 宣夫	常務執行役員	西岡 俊浩
取締役 兼 専務執行役員	岡本 昌敏	常務執行役員	山本 和弘
取締役 兼 常務執行役員	坂口 豪志	上席執行役員	川上 義広
取締役 兼 上席執行役員	井上 智晶	上席執行役員	小土井 晃雅
社外取締役	水野 浩児	上席執行役員	鶴山 伸治
社外取締役	細川 明子	執行役員	佐倉 広太郎
取締役※	吉井 敏憲	執行役員	神藤 和行
社外取締役※	衣目 成雄	執行役員	鶴留 朋広
社外取締役※	野村 新平	執行役員	青山 憲吾

注) ※は監査等委員であります。

会社案内映像



こちらより
アクセス



ALINCO アルインコ株式会社

証券コード: 5933



この印刷物は、植物油
インキを使用しています。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

表紙の作品
について

表紙のイラストは、キクチユミさん作「生命の色彩」(パラリンアート作品)です。
※パラリンアートとは、障がい者の社会的参加と経済的自立を彼らの芸術的表現を通じて支援する
一般社団法人障がい者自立推進機構です。アルインコは、「パラリンアート」を応援しております。

Paralym Art®

株式の状況

発行可能株式総数 35,200,000株
発行済株式数 21,039,326株
うち自己株式数 1,106,651株
株主数 10,616名

株主メモ

事業年度	毎年3月21日から翌年3月20日まで
定時株主総会	6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月20日 期末配当金 毎年3月20日 中間配当金 毎年9月20日
株主名簿管理人 および特別口座 の口座管理機関	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜4丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵送物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ先	フリーダイヤル 0120-782-031 受付時間 9:00~17:00 (土・日・休日を除く)
URL	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/

株主優待について

毎年3月20日現在の当社株主名簿に記載された
株主様を対象としております。

保有株式数	株主様への株主優待制度	
	3年未満保有	3年以上継続保有
500株以上1,000株未満	1,000円分の商品券	2,000円分の商品券
1,000株以上5,000株未満	2,000円分の商品券	3,000円分の商品券
5,000株以上10,000株未満	4,000円分の商品券	5,000円分の商品券
10,000株以上	6,000円分の商品券	8,000円分の商品券

上記の商品券は三井住友カードの「VJAギフトカード」となります。

ALINCO アルインコ株式会社
証券コード: 5933

ALINCO
REPORT

第55期 中間報告書

2024年3月21日 >>>> 2024年9月20日

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、第55期(2025年3月期)中間期の業績と通期の業績予想についてご報告申し上げます。



代表取締役会長
井上 雄策

第55期(2025年3月期)中間期の業績について

当中間期におけるわが国経済は、景気が回復基調を維持する一方で、物価高や自然災害の発生による消費マインドの停滞、中東情勢の緊迫化や為替相場の不安定な動きなどの影響によって、先行きは不透明で厳しい状況が続いています。

当社グループの主な関連業界である建設及び住宅関連業界においては、堅調な企業収益を背景とした設備投資や政府による国土強靱化の加速化対策などから建設投資は引き続き堅調に推移しています。

一方で、人手不足や建設業における労働規制強化による工事遅延、資材価格の高騰などにより、仮設機材の購入を検討している顧客が機材の購入に代えてレンタルで対応する動きが続いています。

このような状況の中、当社グループではコア事業である仮設機材の販売とレンタルの連携を強化することにより、新型足場「アルバトロス」や付加価値の高い製品群の市場シェア拡大を進めるとともに、2024年4月3日に公表しました「中期経営計画2027」の実行に取り組みました。

ニッチマーケットでトップ企業に

この結果、当中間期の売上高は、前年同期比5.4%増の308億22百万円となりました。

利益面においては、「中期経営計画2027」の策定を契機として、今後のレンタル資産の投入計画や稼働見通しを検討しレンタル資産の減価償却の方法を変更したことから減価償却費が減少した一方で、円安の進行や原材料価格の高止まりなどからコスト上昇圧力が継続し、営業利益は前年同期比3.9%減の13億13百万円となりました。また、経常利益は、金融・為替環境の影響を受けて為替差益が4億73百万円減少したことによって、前年同期比29.9%減の14億74百万円となり、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比29.9%減の10億29百万円となりました。



代表取締役社長
兼 社長執行役員
小林 宣夫

2025年3月期の通期連結業績予想について

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年5月2日に公表しました業績予想から変更なく、売上高610億円、営業利益32億円、経常利益33億円、そして親会社株主に帰属する当期純利益21億円としております。

中間 連結業績

(2025年3月期)
下段 前年同期比



WEBサイトで
IR情報を
発信中

売上高

308億22百万円
15億91百万円増(+5.4%)

営業利益

13億13百万円
53百万円減(△3.9%)

経常利益

14億74百万円
6億29百万円減(△29.9%)

親会社株主に帰属する中間純利益

10億29百万円
4億38百万円減(△29.9%)

EBITDA

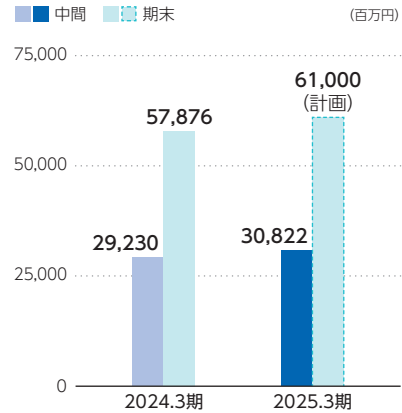
26億78百万円
10億29百万円減(△27.8%)

(注) EBITDA = 経常利益 + 減価償却費 + のれん償却額 + 持分法投資損益

連結業績推移

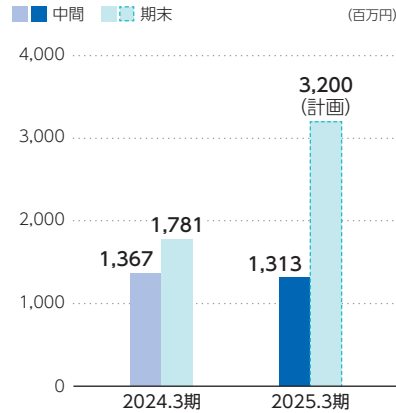
売上高

308億22百万円



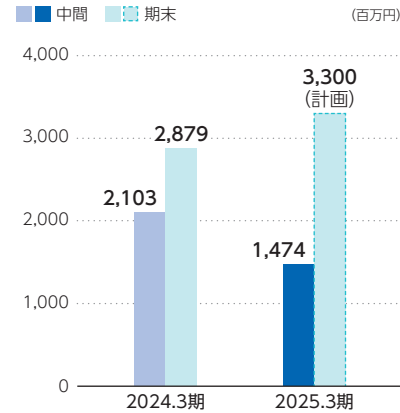
営業利益

13億13百万円



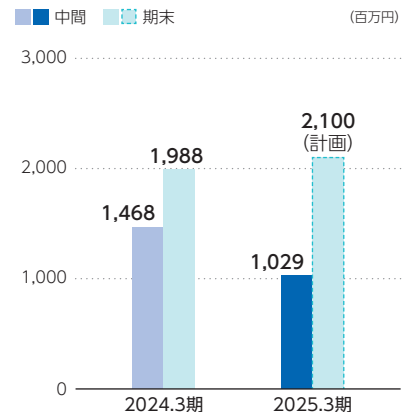
経常利益

14億74百万円



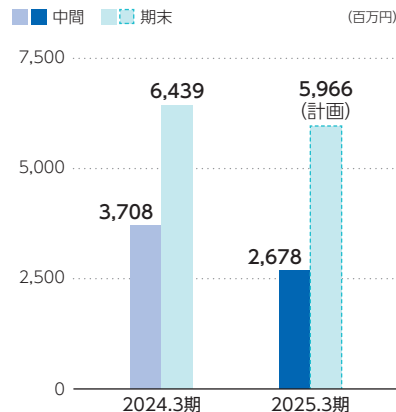
親会社株主に帰属する中間(当期)純利益

10億29百万円



EBITDA

26億78百万円



(注) EBITDA = 経常利益 + 減価償却費 + のれん償却額 + 持分法投資損益

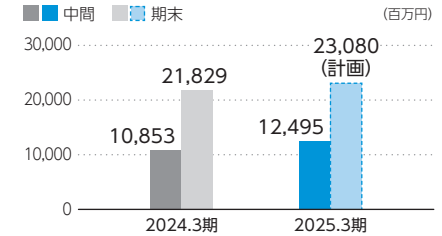
通期連結業績予想 (2025年3月期)

売上高	610億00百万円
営業利益	32億00百万円
経常利益	33億00百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	21億00百万円
EBITDA	59億66百万円

セグメント別概況

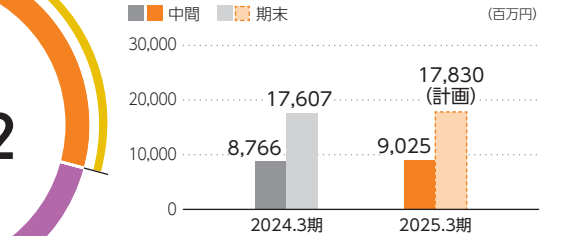
建設機材関連事業 40.5%

- 新型足場「アルバトロス」のシェア拡大
- 関連製品の拡充



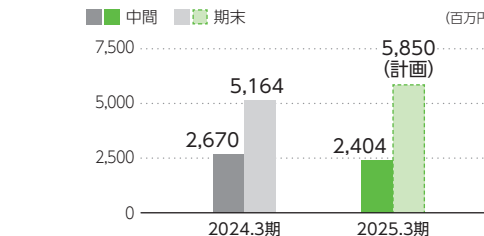
レンタル関連事業 29.3%

- 販売部門と連携して当社製品のシェア拡大



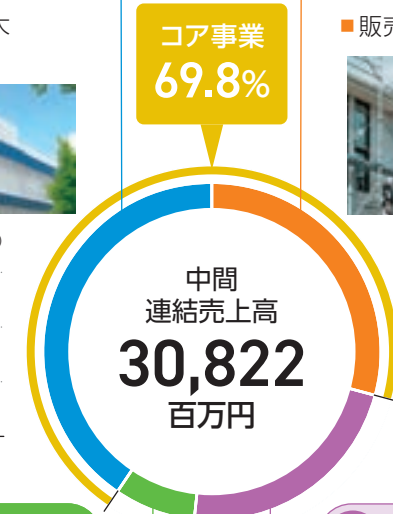
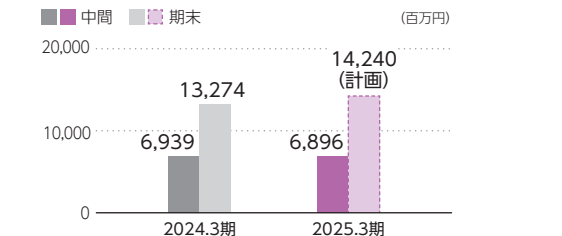
電子機器関連事業 7.8%

- IoT分野製品の販売拡大
- グループ全体での製販増強



住宅機器関連事業 22.4%

- 多様な新製品の展開
- グループ全体での新ジャンルの拡充



メインテーマ **中長期の飛躍に向けて収益基盤を再構築**

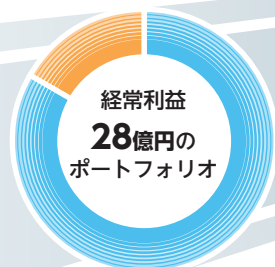
2027年3月期目標

- ◆ 売上高 **680**億円
- ◆ 経常利益 **50**億円
- ◆ 経常利益率 **7%**以上
- ◆ ROE **9%**以上
- ◆ PBR **1.0**倍以上

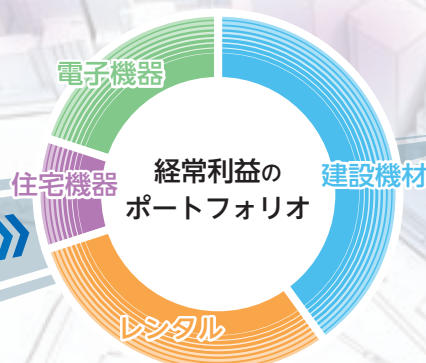
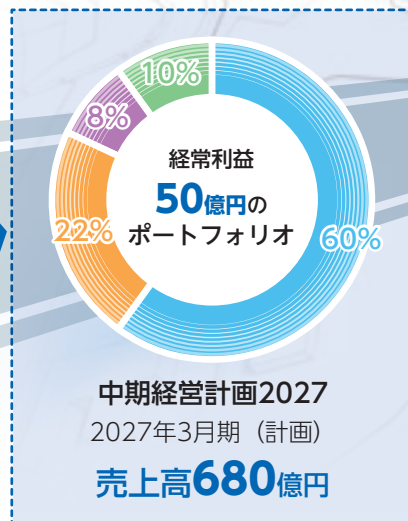
POINT 1 コア事業の進化と事業ポートフォリオの再構築

POINT 2 資本コストや株価を意識した経営の実現

POINT 3 連結配当性向目標40%に加え累進配当を実施



中期経営計画2024
2024年3月期
売上高**578**億円



長期的に目指す姿
売上高**1,000**億円

各事業が高い収益力をもった
バランスのよい
ポートフォリオを目指します

当社グループは、2025年3月期から2027年3月期までの3カ年を実行期間とする「中期経営計画2027」を策定しました。

事業ポートフォリオの考え方

当社グループが長期的に目指している姿は、各事業が高い収益力をもったバランスのよいポートフォリオです。その実現のために、建設機材関連事業とレンタル関連事業で構成するコア事業については、販売とレンタルの連携による新型足場「アルパトロス」のさらなるシェアアップ及び新製品の開発強化により、ビジネスモデルをより進化させてまいります。住宅機器関連事業については、はしごや脚立などのアルミ昇降製品の生産拠点を一部国内回帰させ、為替変動リスクの回避と生産の効率化を図ってまいります。フィットネス関連については、製品ラインナップを消費行動の変化に合わせて再構築することなどにより利益構造の変革を行ってまいります。電子機器関連事業については、従来から培ってきた無線技術を生かし、新製品の開発を強化するとともに、新たな成長事業としているプリント配線板事業について、昨年11月に新工場が竣工した東電子工業の生産能力を生かして、事業の拡大を図り、成長を加速させてまいります。

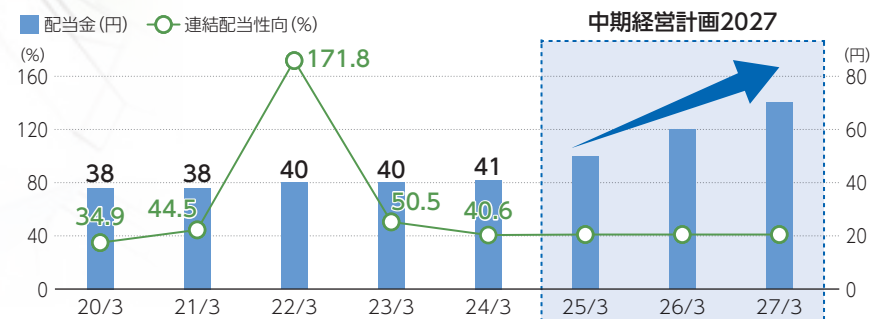
株主還元・配当方針

当社グループは、従来から安定的な配当の維持を利益還元の基本方針とし、2020年3月期以降、連結配当性向目標を40%としています。これに加え、「中期経営計画2027」の期間中は、前年の配当実績を下回らない“累進配当”を実施してまいります。

連結配当性向40%目標

+

累進配当



「SPORTEC2024」出展

住宅機器関連事業

昨年に引き続き東京ビッグサイトで開催された「SPORTEC2024」(2024年7月16日～18日)に、出展しました。SPORTECは「スポーツをもっと身近に」「もっと推進する」ことを目的として開催される総合展示会で、会場来場者数は3日間で3万7千人を超え大盛況となりました。

■ フィットネス事業部が今回展示した「WELMORE」は、日本人の体型に合わせたサイズ設計の業務用トレーニングマシンブランドです。多彩な色展開も魅力で、カラフルなマシンが多くのお客様の関心を集めました。背の高くない方でも届くように高さを抑え、またバーベルやベンチと組み合わせることでベンチプレスやスクワットなど多様なトレーニングに対応できるマシンが大変好評でした。



日本での使用に特化した安心ブランド「WELMORE」

全米エクササイズ&スポーツトレーナー協会(NESTA)との共同開発により、日本人の体格や人間工学に基づいて設計された、最高品質のトレーニングマシン。

WELMORE
公式
ウェブサイト



「CareTEX東京'24【夏】」出展

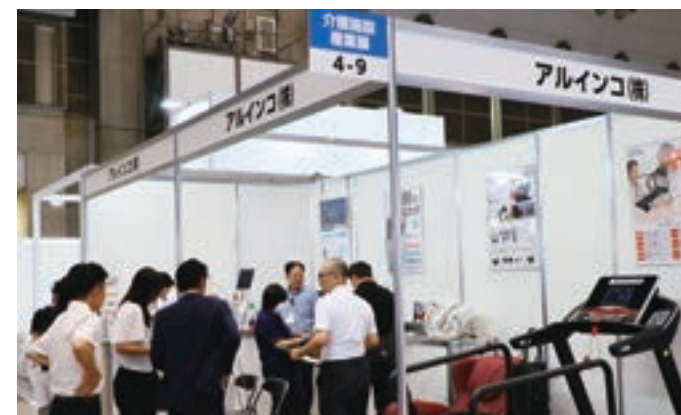
住宅機器関連事業

電子機器関連事業

介護用品、介護施設向け設備・サービスに特化した展示会、「CareTEX東京'24【夏】」(2024年7月31日～8月2日)に出展し、盛況なイベントとなりました。

■ フィットネス事業部は、介護施設やリハビリ施設向け業務用ウォーキングマシンを展示しました。初速を低速(0.2km/h)に抑えていることや、ベルトには逆回転や傾斜をつけられる機能、音声ガイダンスモードによる事故防止対策が特徴です。

■ 電子事業部は、襟元に装着できるインカムのDJ-PX7(ラペルトーク2)と、さらに小型軽量化したDJ-PX10(ラペルトークLite)を展示しました。人材不足が深刻な介護業界ではICTによる業務効率化が急務であり、スムーズなスタッフ連携を可能にするインカムが多くの施設で導入されています。当社のインカムは他社にはないサイズ感から多くのお客様に興味・関心を持っていただけました。



大阪・関西万博でトランシーバー使用開始

当社は、いのち輝く未来社会のデザインをテーマとする2025年日本国際博覧会「大阪・関西万博」へ、運営参加ブロンズパートナーとして、スタッフの方々が使用するトランシーバーを無償貸与しています。

会期は2025年4月13日からですが、当社のトランシーバーは、すでに本年10月から、スタッフの皆さんに会場での使用を開始いただいております。万博開催の準備にもお役立ていただいております。

貸与するトランシーバーには、第三者による傍受を防止するオリジナルの特殊設定を搭載しています。当社は、これまで培ってきた高い無線技術を生かし、大阪の地元企業として、引き続き「大阪・関西万博」の円滑な運営に貢献してまいります。



大阪・関西万博
公式キャラクター
ミャクミャク

©Expo 2025



提供: 2025年日本国際博覧会協会

2024年「天神祭 奉納花火」への協賛

日本三大祭りの一つと言われ千年以上の歴史を持つ「天神祭」が、本年も7月24・25日に大阪天満宮にて開催されました。当社は、天神祭奉納花火への協賛を行いました。約3,000発の奉納花火が大阪の夜空を彩り、大勢の人々で賑わいました。

今回の協賛が、天神祭ひいては大阪の地域活性化への支援に繋がることを願っています。

「全日本少年硬式野球連盟」への協賛

一般社団法人全日本少年硬式野球連盟（通称：ヤングリーグ）にて、2024年7月27日から30日までの4日間、『アルインコカップ争奪 第32回ヤングリーグ選手権大会』（淡路佐野運動公園）が開催されました。

当社は、2006年から同連盟への協賛を続けています。これからも、子どもたちの夢と地域社会の活性化を支援してまいります。



イメージ写真

児童招待公演「こころの劇場」大阪府公演への協賛

当社は、一般財団法人舞台芸術センターと劇団四季が主催する「こころの劇場」大阪府公演（2024年11月実施）に協賛しています。

「こころの劇場」は、子どもたちに「生命の大切さ」「人を思いやる心」など、生きていくうえで大切なことを舞台を通じて伝えることを目的に、全国の子どもたちを劇場に無料招待するプロジェクトです。当社はこの理念に賛同し、活動をサポートしています。

